

芦屋市
谷崎潤一郎
記念館
2017年度
春の特別展

谷崎の愛した絵画、工芸、着物

和らんまん

陰翳に富んだ日本の伝統美に目覚めた谷崎潤一郎(1886~1965年)は、「夢喰ふ蟲」「春琴抄」「細雪」などの名作群を関西の地で生み出しました。「細雪」のモデルになった妻の松子をはじめ、親族の女性たちが身につけた華やかな衣裳、谷崎を王朝世界に誘った俵屋宗達の画軸「源氏物語屏風切」、愛用した三味線や蒔絵の琴など約100点によって、谷崎文学の(和の美)をご堪能ください。
※展示品は時期によって入れ替えがあります。

【後援】 読売新聞大阪本社 武庫川女子大学 大阪よみうり文化センター
【協力】 中央公論新社 日本和装学園神戸校・安藤綾子総合学園長



妻の松子が着た総絞りの訪問着



「癡癡老人日記」のヒロインのモデルになった渡辺千萬子着用の訪問着

2017
3/25 土

6/25 日



谷崎が大切に所蔵していた俵屋宗達作「源氏物語屏風切」この場面は「須磨」の巻

【開館時間】午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日

【入場料】一般:400円/大高生:300円/中学生以下無料 ※団体料金(20人以上)は2割引

※65歳以上、または身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 Tel:0797(23)5852/Fax:0797(38)3244
e-mail: ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp ホームページ: <http://www.tanizakikan.com>

◎徒歩:阪神芦屋駅から南東へ15分 ◎バス:阪急芦屋川駅・JR芦屋駅・阪神芦屋駅いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分



駐車場:隣の美術博物館20台、図書館47台